



林 声

2013

7

月号



木製床固工 (真庭市蒜山上徳山地区内)



丸太筋工 (高梁市備中町地区内)



転落防止柵・丸太階段 (井原市経ヶ丸地区内)



落石防護壁の緩衝材 (和気町衣笠地区内)

治山事業では、上記写真の木製構造物以外にも、谷止工上流側の残存型枠や歩道の路面にチップ舗装等を実施するなど県産材の積極的な利用を行っています。【年間木材使用量】350～500m³

目 次

- 行政トピックス 2
- がんばる森林組合 (奈義町森林組合) 3
- おかやま森づくり県民税について 4
- 普及情報 (岡山地域) 6
- 研究だより 7
- 読者の投稿 (養蜂について) 8
- お知らせ 9
- 防ごう労働災害 10

- 技能講習会、イベント情報 11
- 林産物市況 12



岡山県マスコット
「ももち」

おかやまの森づくり 間伐推進5カ年計画

間伐の推進については、第8期計画となる「おかやまの森づくり間伐推進5カ年計画」が、今年度から新たに始まることを、前号でお知らせしましたが、今回は、その内容等について少し詳しく紹介させていただきます。

5年間で27,000ヘクタールの間伐

第8期の計画期間は、平成25年度から平成29年度の5カ年間で、計画策定に先立ち、無作為に抽出した、県内約500箇所（216杉）の森林について林況を調査したところ、表土の流出が見られるなど緊急に間伐が必要な森林が、面積比で約3割あることが確認されたことから、間伐を必要とする4〜9齢級の面積約85,000杉のうち、約3割に当たる27,000杉を計画量と定め、単年度計画量を5,400杉としたところで、

充実してきた森林資源

間伐の推進は、昭和56年度から

継続して取り組んでいます。年月を経るごとに、人工林は着実に成長し、齢級構成（面積）のピークは9齢級となっています。

また、適正に整備された人工林の蓄積は年々充実し、下の表とグラフでわかるように、10齢級以上の主伐可能な材積は昭和56年度当時約200万m³であったものが、現在は、約2,100万m³と、10倍ほどに充実し、6期計画と比べても倍増しています。

各種補助事業の有効活用

計画達成に向けては、①造林事業（森林環境保全直接支援事業）、②森林整備加速化・林業再生事業、③おかやま森づくり県民税事業を三本の柱に事業を推進しています。造林補助事業では、国の制度改正で従来の単位面積当たりの補助金算定から、木材利用の促進、原木の安定供給を図るべく、搬出材積に応じた補助金算定を行うようになっていきます。

本県では、昨年度まで補助区分の上限材積を70m³以上／杉としていましたが、間伐材のより積極的な有効活用等を促進するため、補助区分の上限を90m³以上／杉まで

引き上げたところです。

間伐で地域の活力向上

間伐を行うことで、森林を健全に保ちながら、搬出した間伐材を木材やバイオマスとして積極活用していけば、林家の収入増につながり、持続的な林業が可能になります。

また、搬出や加工・流通など新

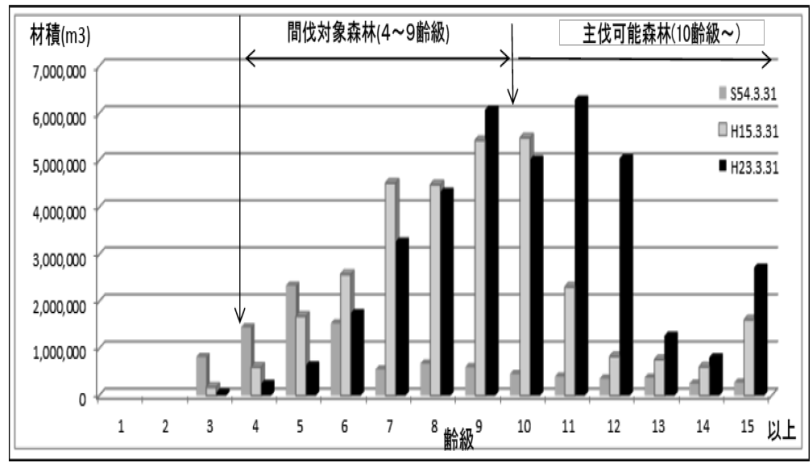
たな雇用が生まれ、地域の活力向上にもつながってまいります。

ぜひ、今一度、森林の状況を確認していただき、間伐の積極的な取組をお願いします。

間伐に関する支援策など詳しくは、最寄りの森林組合、市町村、県民局などにご相談ください。

（治山課造林班）

スギ・ヒノキ人工林の齢級別材積の状況



※齢級とは林齢を5年単位で区切ったもので、1齢級は1〜5年生、2齢級は6〜10年生。 単位: 千m³

間伐推進計画	スギ・ヒノキ人工林蓄積	間伐対象森林の蓄積	10齢級以上の蓄積	備考
第1期計画(S56~H59)	10,123	7,165	2,138	S54.3.31時点
第6期計画(H17~H19)	31,092	19,299	11,611	H15.3.31時点
第8期計画(H25~H29)	37,545	16,320	21,161	H23.3.31時点

特集「がんばる森林組合①」 奈義町森林組合の紹介

勝英普及指導

一 はじめに

奈義町森林組合は、昭和36年3月に設立され、県北部の奈義町を事業区域としています。組合員数は約1,100人で造林補助事業などを積極的に活用し、搬出間伐・作業路の整備を進め「健全な山づくり」と「優良材の生産」に取り組みられています。



福田組長

また、組合発足後間もない、昭和47年に株式会社奈義森林建築センター（以後、奈義森林センター）を設立し、民有林の造林・保育から加工に至る一貫した国産材の低コスト供給システムを確立し、産直方式による伝統木造住宅の建設をされています。現在

の取組状況などについて、福田組長にお話を伺いました。

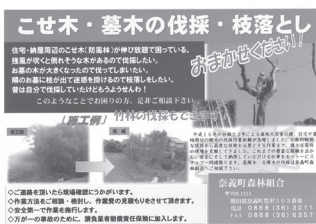
二 インタビュー

現在の事業活動の状況は？

森林整備事業では、平成16年の台風23号による災害復旧跡地造林（民有林）約260畝の下刈が概ね終了し、今後は適正な保育管理が重要な課題となっています。

また、台風被害を免れた林分のお大半が利用可能な樹齢に達しており、各種補助事業を活用して搬出間伐の推進に努めたところ、平成21年度には年間素材取扱量1,157立方メートルであったものが、平成24年度末には4,157立方メートルと大幅に増大しています。

次に、森林整備以外では、15年ぐらい前から電線の支障となる樹木の伐採作業を請け負っており、地元の勝田郡はもとより真庭市内の南部まで事業を展開しています。さらに、奈義町周辺の住民から、民家や納屋の周辺に植えられている「こせ木」と呼ばれる防風



こせ木の伐採パンフレット

林や墓地の周りの樹木の伐採依頼が急増し比較的軽微な伐採から高度な技術を必

要とする危険木・支障木の伐採作業まで森林組合で行っています。

建築部門の奈義森林センターは、安全・安心な地域材・無垢材を使用し伝統的な在来工法による木造住宅を建築しています。現在、町内にある宗教法人随泉寺の



客殿新築工事の状況

客殿新築工事（3社の共同企業体）の木工事の部分を担当しているが、この客殿の新築工事に使用する木材量が233立方メートル必要であったことから、原木の調達には約6ヶ月の期間を費やしました。

三 今後の事業の展開について？

平成24年度から取り組んでいる森林経営計画は、年度末時点で約320畝の計画を策定しています。が、今後は町内の民有林全域をカバーできる計画の策定を目指していきます。そして、この計画に基づき、集約化施策を行い路網の整備や搬出間伐を中心とした施策を積極的に実施していきます。また、災害復旧跡地造林の箇所

については、3年後には除伐・枝打ちの対象年齢となるので、各種補助事業を活用し、森林所有者の負担軽減を図りつつ保育施策を推進していきます。

加工事業部門では、奈義森林センター事業との関連性が深く、当センターの事業実績の善し悪しが、即加工事業部門の実績に反映されるので、消費者ニーズに相應の商品の開発や木材の良さを積極的にPRし新築住宅等の受注増大を図っていきます。当組合が主軸としてきた「産直住宅」の原点に戻り、地域の木材を活用した安心・安全で人に優しい快適な生活空間を提供し地域林業の活性化と地域循環型林業の確立を目指していきます。

四 おわりに

これからも造林・保育・伐採などを受け持つ森林組合と建築事業を行う奈義森林センターが一体となり、「木のまち 住まいづくりの匠の里」を目指して活躍していただきたいと思っています。そのためにも、各種情報の提供などきめ細かな普及指導を行いたいと思います。

（林業普及指導員 木村正三）

「おかやま森づくり県民税」事業の取組状況について

県では、県民共有の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、県民の皆様のご理解とご協力の下、平成16年度から「おかやま森づくり県民税」を導入し、森林の保全を一層推進するための各種施策を実施しています。

平成24年度には、約5億9千2百万円の税を活用し、①公益的機能を高める森づくり、②担い手の確保と木材の利用促進、③各種情報の提供と森づくり活動の推進、の3つの柱に従って、事業を実施しましたので、その実績をご紹介します。

森林の持つ公益的機能を高める森づくり (433,003千円)

1 健全な人工林の整備 (329,941千円)

健全で活力ある森林を育成するため、間伐の実施、作業道の開設、間伐材の搬出などの支援を行いました。

・奥地林等の間伐	2,933ha
・森づくり作業道の開設、補修	51,083m
・スギ間伐材の搬出	10,157m ³



間伐作業

2 多様な森づくり (85,965千円)

荒廃した里山林、松くい虫被害林等の再生、地域の実情・課題に対応した森林保全の取組を支援しました。

・松くい虫被害林の再生	
被害林の整理	144ha
被害木・危険木の除去等	4,331m ³
・ナラ枯れ被害拡大防止 (広葉樹利用促進)	986m ³
・市町村提案型森づくり事業	10市町村 16件
(松くい虫被害対策、市民参加による森づくり活動等)	



松くい虫被害木の処理

担い手の確保と木材の利用促進 (133,477千円)

1 林業労働者の就労条件の整備、若い担い手の育成 (40,287千円)

森林の整備を適正かつ持続的に推進するため、林業に必要な知識や技能を有する人材を育成しました。

・新規就業者の現場研修等の支援	12人
・安全作業装備等の導入支援	344人



新規就業者の現場研修

2 木材の利用促進 (93,190千円)

森林の適正な整備や地球温暖化防止に貢献するため、県産材や木質バイオマスの幅広い利活用を促進しました。

・公共施設、教育・社会福祉施設等への県産材利用	36件 (78m ³)
・小学校への学習机・椅子の導入	18校 416組 (10m ³)
・未利用木質系バイオマスの利活用研究・開発を支援	11件
・高校生提案によるUDに配慮した学校の居室整備	1校 (8m ³)



県産材製の机・椅子

森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (25,970千円)

1 県民への情報提供等 (4,570千円)

森林の働きや林業の役割、おかやま森づくり県民税を活用した取組などについて、県民に情報を発信しました。

・森林・林業を考えるシンポジウムの開催	2回
・新聞による広報	3回
・街頭での広報活動	21回
・地域で開催されるイベントでのPR	9回



街頭でのPR活動

2 森づくりのための人材養成、県民の直接参加による森づくり (21,400千円)

森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森づくりサポートセンターの活動や指導者の養成、企業等による森づくり活動への支援を行いました。

・森づくりサポートセンターの設立支援	1団体
・植樹、保育のつどい等の開催支援	88回 のべ3,254人
・森づくり指導者の養成	のべ50人
・企業と市町村との森林保全協定の締結	1企業
・二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付	5企業・団体



保育のつどい

県民税充当額合計 592,449千円

平成25年度「おかやま森づくり県民税」事業の概要

〔施策の推進方向〕	〔事業名・事業内容〕	〔H25当初予算〕 (千円)
495,923		
I 森林の持つ公益的機能を高める森づくり	【森林機能強化事業】(治山課) 国庫補助の対象とならない地域の間伐等保育や作業道開設等に要する経費の助成	130,430
	【健全な人工林の整備】	
	【搬出促進事業】(治山課) 山土場から市場へのスギ間伐材搬出経費の助成	9,600
	【CO2吸収源対策緊急間伐事業】(治山課) 経営を放棄している森林所有者に代わって行う間伐経費の助成	138,000
多様な森づくり	【造林補助事業(間伐促進)】(治山課) 造林補助事業(国庫補助)と連携した効率的な間伐の実施	87,963
	【自然力を活かした森林再生事業】(林政課) 里山林の不要木や荒廃竹林、倒木の危険性のある松くい虫被害木の伐倒・整理、除去等を行い、自然力を活かした森林の早期再生を図る。 また、ナラ枯れ被害の拡大防止のため、未利用の広葉樹の伐採・利用を促進	99,930
II 担い手の確保と木材の利用促進	【市町村提案型森づくり事業】(林政課) 市町村等の提案による地域の多様な森づくりへの支援	30,000
	174,013	
林業労働者の就労条件の整備 若い担い手の育成	【ニューフォレスター育成支援事業】(林政課) 林業事業者が実施する新規就業者の職場内研修経費、専門的知識及び技能習得経費、就労改善経費の一部を助成	21,318
	【ニューフォレスター創造事業】(林政課) 技術習得のための、森林利用施設での実践活動機会を提供	29,892
木材の利用促進	【林業労働安全・安心推進事業】(林政課) 安全衛生指導員による巡回指導等や、安全作業のための装備等導入を支援	4,392
	【おかやまの木でつくる快適環境整備促進事業】(林政課) 公共建築物等への県産材による内外装等の整備や小学校への県産材製机・椅子の導入、地域住民によるまちづくりへの県産材利用に対する助成	62,500
	【公共建築物等木材利用促進事業】(林政課) 木材・建築事業者が連携した公共建築物等での県産材利用課題検討を支援、公共建築物の木造化計画作成を支援、木造建築や県産木製品等の利用をPR	5,440
	【県産ヒノキ販路拡大等推進事業】(林政課) 国内外の展示会への出展、県産材サポーターの養成等により、品質・性能に優れた製材品の販路を拡大	15,471
	【バイオマスイノベーション推進事業】(新エネルギー推進室) 未利用間伐材等の木質バイオマスから新素材や新製品の開発を進める	25,000
III 森林・林業情報の提供と森づくり活動の推進	【高校生「県産材活用」UD整備事業】(教育庁・財務課) 生徒自らの企画による県産材を活用しUDを取り入れた施設の整備	10,000
	24,695	
県民への情報提供等	【おかやま森づくり情報発信事業】(林政課) 森林・林業の現状や課題、森づくり県民税の用途等についての広報活動 市町村等地域単位での森林・林業に関する普及啓発活動	5,997
森づくりのための人材養成	【みどりの大会開催事業】(自然環境課) 県下のみどりの少年隊の交流大会の実施	2,000
県民参加による森づくり	【県民が育て楽しむ森づくり推進事業】(林政課) フォレストスクールの開催、おかやま森づくりサポートセンターへの支援、企業との協働の森づくりの実施などにより、県民が育て楽しむ森づくりを推進	16,698
合計		694,631千円

平成25年度には約6億9千5百万円の税を活用し、上記のとおり各種の森林保全事業に取り組むこととしてしています。

なお、本年度は、「森林の保全に係る県民税の特例に関する条例」で定める課税期間の最終年度となることから、これまでの各事業の効果の検証や制度の見直しについて、有識者からなる「岡山県税制懇話会」で検討いただいているところです。

皆さんもこの機会に、森林の大切さや林業の役割、木材の良さについて考えていただくとともに、今後とも「おかやま森づくり県民税」へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(林政課普及指導班)

普及情報
『見て・触れて・
みんなで木づかい』
岡山普及指導区



一 はじめに

県人口の4割が集中する岡山普及指導区では、県産材の需要拡大が重要課題の一つであり、機会を捉えて木材の利用拡大を普及啓発しています。今回は昨年・一昨年に実施した地域材利用普及啓発事業（地方振興事業調整費）の取組を紹介します。

二 概要

木材に対する親しみや木の文化について理解を深めるとともに、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ事を目的として、小学校、地域コミュニティ、イベント会場などで「見て・触れて・みんなで木づかい」をテーマに、木育出前講座等を開催しました。

開催回数 15回

参加者数 1266人

(一) 木育出前講座

小学校や地域を訪問し、木製のベンチや鉛筆立てづくりを行い、

森林林業ミニ講座を行いました。木製ベンチは、丸棒加工材（ヒノキ製。キット化されたもの）をソケットレンチを使い、ボルト等で固定しながら組み立てました。鉛筆立ては、皮を剥いだヒノキ間伐材又はヒノキ3寸角材を10cmほどに切ったものに、電動ドリルで数個穴を開け、木育ロゴスタンプを押し込んだものです。また、ミニ講座では、生活と木材の関わりや森林の働きなどを説明して、森林の大切さや木づかいの意味などを知ってもらいました。



組合せや穴の位置を考えて協力作業

(二) 児童の反応

後日届いた岡山市立御休小学校6年生の感想の一部を紹介します。「年輪を初めて知りました」「すごく良いにおいでした」「やっていくうちに楽しくなって完成したとき

はうれしかった」「家族も喜んでました」「ペン立ては机の上で使っています」「低学年が座って暖かいと言っていました」「貴重な体験でした」



ヒノキ角材を観察

(三) イベントでの木育活動

岡山駅前や岡山ドームでのイベント会場で、一般の方々を対象に木製の鉛筆立てやコースターづくりを行いました。来訪者は通行人が多く、駅前では人の目を惹くブーンスの様相でしたが、「ヒノキの香りが良い」「色がキレイ」などの感想があり、多くの方々に参加して頂きました。

三 おわりに

今回の取組は、森林ボランティア団体（皮剥ぎ間伐材の調達、指導補助）・市町（対象校の選定、指

導補助）・県（企画、指導等）との協働により、実施したものです。参加した児童や一般の方々には、木材を肌で感じながら森林との関わりを学ぶよい機会となったと思われる一方で、木材に触れる機会が少なくことをあらためて実感しました。

今回、市町担当職員や教員の方々が、協働で木育指導を体験したことが、今後の公共建築物等への木材利用拡大に繋がる契機になるものと期待しています。当普及指導区では、木材利用は川下である消費者へのPRが重要と考え、今年も新たな企画を検討しています。

（林業普及指導員 荒木彰宏）



岡山駅前イベントでの木育活動

研究だより
アンケートからシカの被害を考える
森林研究所 林業研究室
研究員 三枝 道生

野生鳥獣による被害といえ、これまでイノシシ、シカの農業被害、カワウの水産物被害などが中心でした。近年ではシカの林業被害も注目されてきましたが、実はシカによる被害のうち、以前から林業被害が約半数を占めていました(図1)。

しかし、被害が県東部に限定されている、新植がそれほど多くなかった、成木への皮剥はあるが、枯れることはあまりない等から、

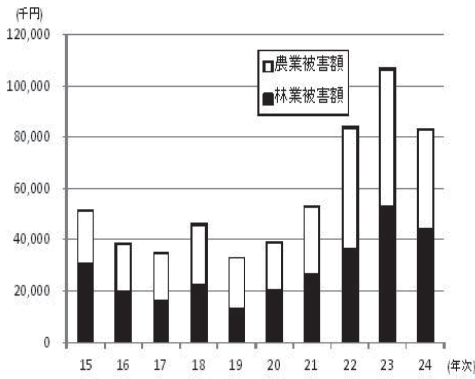


図1 シカによる被害 (自然環境課調べ)

シカの被害は県全体としてはそれほど重大ではないと考えられているのではないのでしょうか。そのため、林業被害というよりも喫緊の問題として農業被害として認識されていたように思われます。

ところが、平成16年に発生した台風による風倒被害によって認識に変化が生じたと思われれます。被害地に植樹された苗木が、シカの食害により大きなダメージを受けました。また、これに呼応して以前からあったと思われる人工林における皮剥被害も問題視されるようになりました。

これを受けて、当研究所では、平成23年度からシカの生息状況を把握するとともに対策について検討しています。

シカの生息及び被害の状況について市町村にアンケートを実施したところ、県南西部以外の21市町

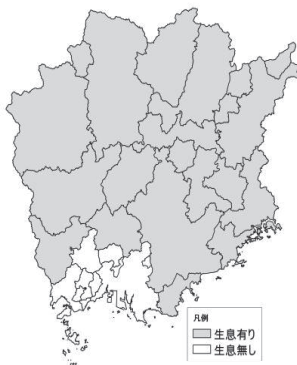


図2 生息状況

村でシカの生息情報を把握されてきました(図2)。農業被害については、県東部で確認されていますが、県西部では把握されていませんでした(図3)。一方、林業における被害については、県北東部のみに集中していました(図4)。

被害が前年度よりも増えたと回答した市町村は、勝英地域及び被害発生地域の西側となっており、被害が東部から西部に徐々に拡大してきていることを示唆していま



図4 林業被害状況

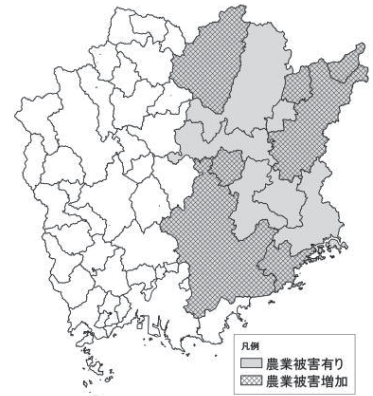


図3 農業被害状況

す。また、これまで捕獲等の対策を行っているにもかかわらず、被害が収まらない地域では、重大な問題として認識されていることが判りました。

アンケート調査は、回答者の把握している範囲内の回答ですから、特に今回のような被害状況に関するアンケートでは、回答者の主観、感情が多分に反映されることが予想されます。そこで、客観的なデータとして自然環境課が狩猟者を対象に調査している出猟時における目撃効率(図5)と比較したところ、目撃箇所が近似していたことから、市町村の回答はシカの情報を得る上で重要な情報の一つであることが再確認できました。

現在、生息状況とともに防除技術についても情報提供できるように研究しています。

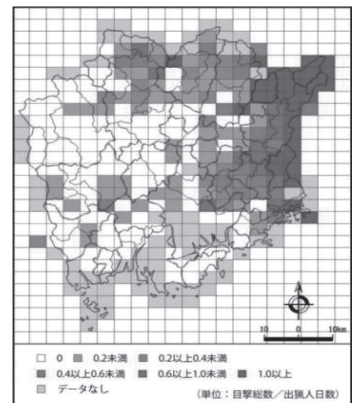


図5 出猟時における目撃効率

読者の投稿



真庭養蜂組合
幹事 藤本秀雄 氏

小職は、地元の金融機関に勤務する養蜂家です。蜂は、人間の社会と同じ、社会性の動物と言われ、一匹では生きて行くことが出来ません。一匹の女王蜂と2〜3万匹の働き蜂が一つのコロニーを作っています。

さて、現在養蜂家の置かれている立場は、全国的な蜜源植物の減少と養蜂家の高齢化による後継者不足によりとても仕事の出来る良い環境とは言いがたいものがあります。山の荒廃をみて嘆いているのは、林業に携わる方々ばかりでなく、養蜂家も同じです。是非、読者の皆様に養蜂の現況と時代の変遷をご理解いただきたいと思います。なぜなら、林業と養蜂の歴史は、とても密接な関係があるからです。

かつて、南北に長い日本列島は、

蜜源になる植物の宝庫でした。九州から近畿は、れんげ、菜の花、みかん等、中部から東北にかけては、トチ、ニセアカシアが豊富にありました。



れんげの花にきたミツバチ

しかし、昭和30年以降、国内建築用材としての木材の需要が急増したため、昭和39年に林業基本法が制定されました。

これにより林業生産の拡大化に乗り出した政府は、国有林を増伐し、新たな林地に杉・松などの針葉樹の植栽する事を奨励したため、自生するトチ・クリ・シナノキなどの大切な蜜源が多く失われました。

樹木は草生の植物と違い、1本でも豊富に蜜が採れます。例えば、樹齢100年以上のトチの木1本で、1日1斗（蜂蜜の場合24kg）

の蜜を出すと言われていきます。ただ一度の伐採がもたらす蜂蜜の損害は計り知れません。

その後、林野庁から昭和57年新しい方向性が示されました。「蜜源確保のための国有林の活用について」という通達です。これは、養蜂家が国有林の一部を買い取るか、あるいは一定期間借り、蜜源樹木を植えても良いという内容でしたが、この提案は養蜂家には歓迎されませんでした。そこまでして採算がとれるのか、という問題が出たからです。

養蜂家たちが自らの運動に自信が持たなくなっていた平成元年に、画期的な道が開かれます。林野庁より「営林署管内図に蜜源保存地帯を記入し、これを関係当局に提出し、行政指導をもって林務関係者に徹底させるように」という合意がなされたのです。養蜂家たちは、どこに蜂を何群置いて、どの地帯を残してほしいのかを営林署管内図に具体的に示したのです。それにより、平成3年より営林局や営林署で蜜源保存に活かされることとなったのですが、養蜂家の高齢化と後継者不足が続く時期を逸した感があり、現在では国産蜂

蜜は幻の商品となっております。

特に、皆さんが一度は口にしたいことがある、国産れんげ蜂蜜においては、外国から入ってきたタコゾウ虫がれんげの茎を食べる為、花は咲くが蜜が全く採れない状態になっております。現在では、国産れんげ蜂蜜は、幻の蜂蜜の代表格となっており、1斗缶で5万円とも10万円とも、それ以上とも言われております。今では、値段があつて無いようなものです。



楽しみにしていた蜂蜜を採取

養蜂の根幹は蜜源です。蜜源のない所に養蜂は成り立ちません。原生的広葉樹林は、雇用の場、木材提供の場を越えて国民の為に保存保護していくべきものと思っております。しかし乍、現在では、林業家と養蜂家は各々独自の立場をとっており、林業家は、国産材

の植育を求め、養蜂家は、蜜源となる広葉樹の植育を求めておりません。小職は、互いに繁栄する方法を見つけ出しお互いの立場を理解するための協議の場を持つことが必要ではないかと思えます。林業家と養蜂家が共存共栄できる場こそが、あえては日本の林業の発展につながるものと確信しているからです。

読者の皆さんの中で興味のある方は是非、養蜂を始めてみて下さい。今まで気に留めていなかった広葉樹林がとて身近に感じられるようになると共に、蜂蜜で元気にパワーアップした生活が送れるはずですから。

(真庭市在住 養蜂家)

★お知らせ★

フォレストスクールの開催

岡山県では、ボランティア団体の技術向上や県民の皆さんの森づくり体験活動を支援するため「フォレストスクール推進事業」を実施します。

既に地域で森づくり活動をしているグループ会員には、安全管理・指導の方法、道具の使い方、メンテナンスなど、指導的立場に必要な「森づくりリーダー研修」を開催します。

森林での自然体験を通じて、森の恵みを楽しみ、森林に関する知識を身につけたい方には「森づくりワークショップ」を開催します。

里山整備で問題となっている竹林整備、資源活用(竹炭など)、新酒の完成を知らせる「スギ玉」づくりを実施予定です。



今年度は各2回の開催予定です。申込・詳しい内容は、担当へお問い合わせください。

(林政課普及指導班)

☎086(226)7451

岡山県立森林公園
夏の自然観察会 参加者募集!

県立森林公園において、毎年恒

例の自然観察会が次のとおり開催されます。講師の案内により、多くの野鳥や多様な植物を観察しながら散策します。

記

【日時】7月28日(日)

10時30分～14時30分

【申込み】往復ハガキに住所、氏名、電話番号、交通手段(臨時バス利用者)は乗車地の別(岡山・倉敷・津山)、参加人数(大人、子供別)、希望コース(「ぶなの平」、「展望台・もみじ滝」、「千軒平」)を明記の上、7月24日(水)までに左記申込先に郵送。

【その他】定員(150人)になり次第締め切り。雨天開催。昼食持参(弁当の予約販売有り。必要の方は申込みハガキに明記)。臨時バスは有料。臨時バス乗車場所、コース詳細は左記連絡先まで。

【申込み・問い合わせ先】

岡山県立森林公園

管理センター

〒708-0601

苫田郡鏡野町上齋原332-8

☎0868(52)0928

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

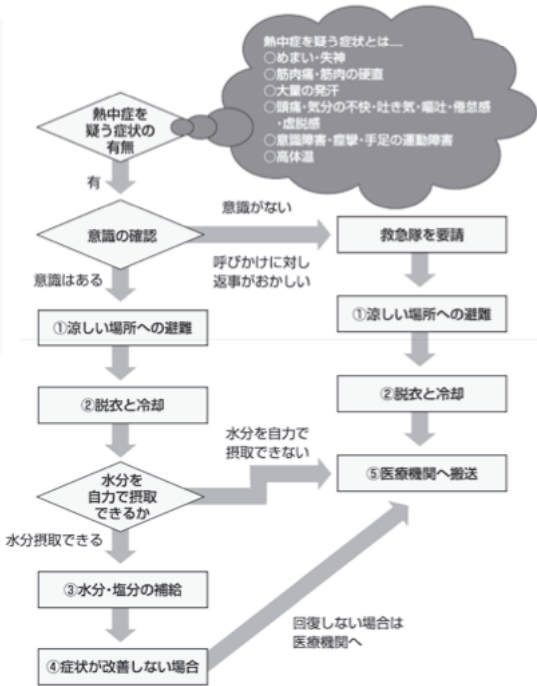
防ぎよう労働災害

「怖いのは慣れた作業とその油断」

7月、林業・木材製造業労働災害防止協会の定める「林業労働災害防止月間」です。労働災害の防止、労働者の健康の確保及び快適な職場の形成促進を図り、林業の安全衛生水準の向上を期するため、積極的な安全衛生活動を展開することとしています。

特に、夏期における安全対策として「熱中症予防対策」と「蜂対策」について解説します。

一 熱中症予防対策
熱中症は、高温や多湿の元で、



熱中症の救急対応

体温調節機能などの働きに障害が起る病気で、めまい・頭痛・吐き気・嘔吐・虚脱感等がみられ、意識障害に陥ることもあります。昨年度、全国では造林作業中の熱中症による死亡事故が2件発生しています。

対策には、自覚症状にかかわらず、水分・塩分を定期的に摂取する、日中の炎天下での作業では、直射日光を避け、こまめな休息をとるなどが必要です。

・ 計画的に熱への順化期間を設けましょう。
・ 連続作業時間の短縮、作業の変更を努めましょう。
・ 一人作業は避けましょう。

・ 通気性のよい服装、保冷剤等熱中症予防用品を活用しましょう。

また、管理監督者は、作業開始前に作業者の体調をチェックし、作業中も一人一人の健康状態を確認してください。

二 蜂対策

これからの季節、蜂の行動が活性化します。アシナガバチは7月8月、スズメバチは7月10月が要注意です。

露出部分を少なくし、蜂の攻撃を受けやすい黒を避け、白い作業着や保護帽を着用する、匂いにも敏感なため、整髪料や香水を付けないなどの対策をし、蜂の多い場所では、防蜂網、蜂専用殺虫スプレー、毒吸引器を携行すると便利です。

蜂刺されは重傷になると「アナフィラキシーショック」(急性の全身性アレルギー反応)を引き起こすこともあり、平成23年9月からはアレルギーの自己注射薬(エピペン®)が保険適用となつています。

(林政課普及指導班)



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

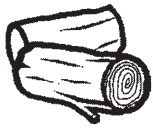
技能講習会の開催(7~9月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

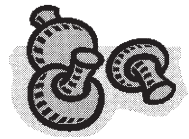
名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	7月11, 12日・9月12, 13日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け(未経験者対象)	岡山	7月4, 5日・8月1, 2日 9月5, 6日・7, 8日	
	和気	8月29, 30日	
	津山	9月2, 3日	
	新見	9月12, 13日	
	玉野	9月17, 18日	
	笠岡	9月18, 19日	
伐木(特別教育)	津山	9月24, 25日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 221-2160
	新見	9月25, 26日	
刈払機作業従事者	岡山	7月10日	
	津山	7月31日・9月27日	
移動式クレーン運転士		7月18日・9月9日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
はい作業主任者	津山	8月21, 22日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

森林・林業関係イベント参加募集

実施月日	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
7.21(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第159回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
7.27(土) 9:30~	高間キャンプ場 (総社市種井)	森林整備の集い (下刈り・不要木の除去)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
7.27(土) 9:00~ 7.28(日) 15:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	環境学習キャンプ (昆虫観察会ほか)	NPO 法人フォレストフォーピー プル岡山 TEL (0866) 22-1000
8.18(日) 9:30~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第160回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
8.24(土) 9:30~	倉敷市酒津地内	森林整備の集い (下刈り)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
9.28(土) 9:30~	真備美しい森 (倉敷市市場)	竹林整備の集い (クリ植栽地の下刈り)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600



林産物市況



木 材 (6月19日)

単位：千円/㎡

乾しいたけ (6月7日)

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	概 況		
杉	3 m	1 4 ~ 1 6	9.5	-	5.5	出荷材積 約 2,000 ㎡	
		1 8 ~ 2 0	10.5	-	5.5		
		2 2 ~ 2 4	10	-	7		
	4 m	1 8 ~ 2 2	10	-	8	杉 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 弱気配	
		2 4 ~ 2 8	10	-	8		
		6 m	1 8 ~ 2 0	15	-		6
松	3 m	1 4 ~ 1 6	20.5	-	16	松 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 弱気配	
		1 8 ~ 2 0	18.5	-	16		
		2 2 ~ 2 4	17.5	-	14		
		2 6 cm 上	17.5	-	14		
		1 4 cm	16	-	10		
	4 m	1 6 ~ 1 8	19	-	15.5	松 中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 弱気配	
		2 0 ~ 2 2	17	-	15		
		2 4 ~ 2 8	17	-	16		
		3 0 cm 上	15	-	12		
		1 4 cm	18	-	8		
	6 m	1 6 cm	32	-	25	記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配	
		1 8 ~ 2 0	33	-	25		
		2 2 cm 上	20	-	13		
		3 m	1 8 ~ 2 4	8	-		5
		4 m	2 4 ~ 3 0	10	-		5

- ・ 出品数量 9.7t
- ・ 価格高値 5,890 円
- ・ 総平均 2,340 円

品柄	価 格		相 場
	平均	高値	
香信大	3,260	5,890	□
香信中	2,570	5,790	□
香信小	1,510	3,000	△
小 間	1,100	-	□
香信山成	1,830	3,870	□
バレ大	2,010	3,770	□
バレ中	1,900	3,290	□
スライス	2,460	3,510	△
花どんこ	-	-	-
上どんこ	2,490	4,000	△
並どんこ	1,800	3,560	△
並並どんこ	1,600	3,200	△
小玉どんこ	-	-	-
山成どんこ	1,530	2,590	△
こうこ	3,550	5,660	□

価格：円/kg (相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□

<概況>
温度上昇と降雨不足により、採取時期の成長が進まず、香信の小葉系、どんこ系の小さな出品が多かった。
全国的に乾しいたけの消費量が激減しており、弱保合で推移している。

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。
<概況>全体的に安値が続いています。ヒノキ構造材、直材は強含み。

資料：岡山県森連椎茸共販所 市況通知
※次回入札会は H25.10.24

製 材 (6月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備 考
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	G	30,000 ~ 35,000	注文挽き
		特等	K	50,000 ~ 55,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	G	30,000 ~ 35,000	注文挽き
		特等	K	50,000 ~ 55,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000 ~ 60,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000 ~ 60,000	横這い
マ ツ	平角 4m 10.5 ~ 12cm × 15 ~ 18cm	一等	G	35,000 ~ 40,000	
米マツ	正角 3m・4m 10.5cm 角	特等	G	54,000	
	平角 3m・4m 10.5cm × 15 ~ 21cm	特等	G	54,000 ~ 55,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000 ~ 75,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm × 10.5cm	特等	K	58,000	国内挽き

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

岡山県エコ製品の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン[®] 乳剤・MC

頻れる松枯れ防止用散布剤

モリエート[®] SC・MC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング[®] SP

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー[®] 40

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード[®] ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

FOREST
INSURANCE

**森林
国営保険**



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林

加入期間は？ 1年単位で何年でも！

保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で7千万円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずか缶ビール
1本分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局（森林整備課）・地域事務所（地域森林課）の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455（直通）

平成二十五年七月一日（隔月一日発行）
（第四三〇号）

編集 発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山市北区内山下二一四一六
岡山県林業改良普及協会

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

『 特別共販日のご案内 』

岡山県森林組合連合会



開催日	特別共販名（開催共販所）
10月16日	真庭産優良材品評会特別市（勝山）
17日	加茂地区木材組合記念市（津山）
23日	新見地区木材まつり（新見）
11月11日	第25回岡山県 民有林優良材展示コンクール（津山）
12月20日	真庭原木買方組合特別市（勝山）



新見・勝山・津山 各共販所への出材をよろしくお願ひします。（毎月3回開催）

安心と信頼の証を届けます



JQA-QM8203



PRO99

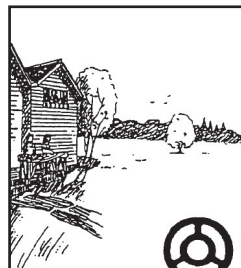
創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。



日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

大久保体育株式会社

- 本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
- 倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
- 東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-21-3 TEL (03) 3863-0722 FAX (03) 3863-0778



緑あふれる環境づくり



株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号

TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142

http://www.yamatoya-net.com

大阪営業所 津山営業所 水島営業所



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

